

平成29年度 神奈川県立鎌倉高等学校 不祥事ゼロプログラム実施結果

	項目	目標	行動計画	検証結果
(1)	公務外非行の防止 (法令遵守意識の向上)	公務外非行を防止する。	i 公務員としての自覚を持ち、法令順守意識の向上を図る	○
			ii 若手職員が職務上の疑問や悩みを抱え込まずに相談できる環境づくりを推進する。	○
(2)	わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	i 人権教育の外部講師を招き、校内研修会を実施する。	○
			ii セクハラ等の未然防止やスクール・セクハラ等の根絶についての共有理解を図る。	○
			iii セクハラ等を受けた生徒や職員がすぐに相談できる環境づくりを推進する。	○
(3)	体罰、不適切な指導の防止	適切な生徒指導を行い、体罰や不適切指導を未然に防止する。	i 生徒一人ひとりの理解に基づく指導のあり方を身に付ける。	○
			ii 生徒およびその保護者が体罰や不適切な指導について相談できる体制を整備する。	○
(4)	会計事務等の適正執行	適正な会計処理の推進に努める。	i 監査結果を全職員で共有する。	○
			ii 私費会計の適切な運用について理解と早めの処理に努め、事故防止を徹底する。	○
(5)	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報等を適正に管理し、情報の流出を未然に防止する。	i 個人情報の持ち出しに関する手続き等について徹底し、個人情報漏出防止の意識を高める。	○
			ii 文書類も含めて管理されている情報を夏季休業中に点検をし、不必要な文書・情報については、起案、複数での確認の上、確実に廃棄していく。	○
(6)	交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止	通勤ならびに私的利用の車運転につき、法令を遵守し、県民の範たる行動を心がける。	i 通勤時には余裕を持った運転を励行する。	○
			ii 宴席には車利用厳禁とし、法令遵守の精神を堅持するよう、指導を繰り返す。	○
			iii 外部講師による研修を行う。	○
(7)	調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止	調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故を未然に防止する。	i 定期試験問題の作成、素点入力、成績処理、調査書の作成・発行等で行っている相互チェック体制の再点検を実施し、必要な改善を図る。	○
			ii 定期試験問題の作成、素点入力、成績処理、調査書の作成・発行等で行っている相互チェック体制への意識を高める。	○
(8)	進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	学に係る推薦書、模擬試験結果等、進路関係の書類ならびにデータの管理を徹底する。	i 推薦要綱の細部を熟読し、適応条項に欠損がないことを確認する。	○
			ii 進路指導に活用する模擬試験データの取扱いについて細心の注意を払う。	○

【 検証 】

教職員が主体的に行う不祥事防止研修が定着し、所掌する業務の注意点を詳細に把握し、全体へ伝達、注意喚起する良い機会として機能している。所属長から職員会議、朝の打合せでなされる意識啓発と相まって、職員は自分の課題として捉えている。

今後さらに問題点の共有や問題の早期開示の風土を浸透させていき、職員が積極的に事故防止に係る状態を実現していきたい。